

研修マニュアル（整形外科） ver.1.0

(2022/12/20 作成)

【週間スケジュール】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|--------------------------|---------------|-------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|----------------------------|---|
| AM | 7:30 全体カンファ レンス | 8:00 病棟回診 | 7:30 グループカン ファレンス | 7:30 全体カンファ レンス | 8:00 病棟回診 | 病棟回診 (最低どち らか1 日) | |
| | 8:15 教授回診 | 8:30 外来診察 | 8:30 外来診察 or 担当患者手術 (脊椎/手) | 病棟回診 /病棟業務 | 8:30 外来診察 or 担当患者手術 (肩/膝) | | |
| | 8:30 担当患者手術 (股/腫瘍) | | | | | | |
| PM | 13:00 担当患者手術 (股/足) | 病棟回診/ 病棟業務 | 13:00 担当患者手術 (脊椎/腫瘍) | 13:00 担当患者手術 (肩/手/足) | 13:00 担当患者手術 (膝) | | |
| | 病棟回診 | | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 | | |
| 時 間 外 | 19:00 勉強会 | | 19:00 抄読会 | | | | |

全体カンファレンス：東7階カンファレンスルーム

グループカンファレンス：脊椎（東7階）、関節（リハビリ室）、腫瘍・手（整形外科外来）

勉強会・抄読会：医学部棟4階 整形外科医局

◎到達目標

整形外科研修時の到達目標の目安

※研修医個々の能力および研修に対する態度によって到達度が大きく異なる可能性があります

【経験手術症例数】

1 ヶ月間：15－20 例（うち担当症例 5-6 例）

3 ヶ月間：50－60 例（うち担当症例 15-20 例）

【知識】

1 ヶ月間：

・代表的疾患（変形性関節症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、四肢・脊椎骨折、腱靱帯断裂）の診断ができる

3 ヶ月間：

・代表的疾患（変形性関節症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、四肢・脊椎骨折、腱靱帯断裂）の診断ができる

・代表的疾患（変形性関節症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、四肢・脊椎骨折、腱靱帯断裂）の保存治療、手術治療の適応が理解できる

・人工関節置換術、骨折手術の術前計画ができる（2D テンプレート/3D テンプレート/3D 模型作製）

【手技】

1 ヶ月間：

・皮膚縫合（6例）、皮下埋没縫合（4例）、ギプスシーネ固定（3例）、運動器
エコー検査(3例)

3 ヶ月間：

・皮膚縫合（20例）、皮下埋没縫合（10例）、ギプスシーネ固定（10例）、関
節内注射（5例）、腱鞘内注射（3例）、神経ブロック麻酔（3例）、運動器エコ
ー検査（10例）、皮膚切開・術野展開（習熟度に応じて）、脊椎椎弓根スクリュ
ー挿入(習熟度に応じて)、骨接合インプラント固定（習熟度に応じて）

【学会発表】

1 ヶ月以上の研修予定者のなかで、希望者には学会発表の機会を与えます。

（学会発表は整形外科専門医となるためには必須の条件です。将来、整形外科
専門医取得を考えている方は是非相談して下さい。）

◎病棟回診・病棟業務

研修開始前には研修医担当医師に連絡を取って下さい。実習期間に応じて、担当症例の決定や実習スケジュールを調整します。もちろん、興味のある症例があれば担当して頂きますので、希望を伝えて下さい。

担当患者さんには、自己紹介、挨拶をして、病歴聴取、身体診察を行いましょよう。各種検査結果も踏まえて入院時診療録の記載をしましょう。この際、入院診療計画書、栄養管理計画書も併せて記入します。

リハビリテーションは手術治療と同程度に重要な整形外科治療です。時間を見つけて担当症例の術後リハビリに同行し、回復状況を自分の目で観察して下さい。

日々の回診は朝・夕の最低2回は行いましょう。特に土日の回診は強制ませんが、術後患者さんの状態を考慮すると、最低どちらか1日は診察することが望ましいと考えます。

◎外来診察（火曜日、水曜日、金曜日）

担当症例の手術がない日には、上級医の外来診察について研修をして頂きます。外来処置（ガーゼ交換、抜糸、ギプス固定など）、運動器エコー検査、関節内注射、ブロック注射の介助をして下さい。手技についての予習、復習を行っており、知識および技術が十分であると判断できる場合は、上級医の指導下に上記の処置や検査を実施して頂きます。また、骨折や脱臼等の緊急患者さんが受診された場合は PHS に連絡を入れます。上級医と共に診療に参加して下さい。

◎全体カンファレンス（月曜日、木曜日）

受け持ち症例について、プレゼンをして頂きます。術前プレゼンでは病歴、診察所見、画像所見から得られた診断と、それに基づいて決定された手術プランを提示して下さい。術後プレゼンでは手術記録を参考に、術中所見や手術内容を提示して下さい。双方、1 症例につき 3 分程度が目安です。プレゼン資料の作成にあたっては、専攻医（主治医）および指導医（執刀医）と相談の上、準備をして下さい。

◎手術（月曜日、水曜日、木曜日、金曜日）

整形外科診療班のすべての手術（股関節、膝関節、肩・肘関節、手、足、脊椎、腫瘍、リウマチ外科）を経験して頂きます。担当症例以外の手術にも参加して下さい。手術では習熟度に応じて縫合、インプラント設置、術後外固定を施行して頂きます（上記参照）。

◎サポートおよびトラブル発生時の対応（PHS と不在時間）

担当症例について、わからないこと、困っていることがある場合は上級医（担当症例の主治医または指導医）に相談して下さい。上級医が不在で、緊急対応が必要な際は、研修医担当医師または病棟医長に連絡して下さい。